

平成29年 7月 19日

一般社団法人 全国建設業協会  
会長 近藤 晴貞 様

一般社団法人 鉄骨建設業協会  
会長 田中 進

一般社団法人 全国鐵構工業協会  
会長 米森 昭夫



## 要 望 書

平素は、鉄骨業界に対しまして、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本経済の緩やかな回復基調のなかにあつて、建設業界は東京オリンピック・パラリンピック関連施設や首都圏大規模再開発等の高い需要に支えられ堅調な動きを示しております。鉄骨需要量は、一時期の低迷を脱して4年続けて概ね500万トンとなりました。工事が本格化する今年度以降は、繁忙状態が続くと見込まれます。

しかしながら、鉄骨業界においては、このところ、鉄骨価格に一定の改善がみられるものの、鋼材費・輸送費・現場施工費の値上り傾向に加え、工期・工程のずれや技術者・技能者不足に起因して円滑な工事進行が阻まれ、工場運営ならびに企業経営が圧迫される状況にあります。

今後、建設需要の増大が見込まれる状況下にあつて、工事施工の円滑な遂行と経営環境の改善強化を図るために、下記事項について特段のご配慮を賜りたく、貴協会傘下の会員のご理解と適切な対応が図られますよう、周知方お願いする次第であります。

### 記

1. 契約時工期・工程の厳守
  - ・マスター工程表に基づいて作成した鉄骨製作工程表の合意と遵守
  - ・工作図確定に向けた関連情報の早期決定
2. 追加変更工事の書面による適正な指示と評価
  - ・協議合意による書面での指示
  - ・月毎の早期精算及び適正な評価(常備工事含む)
3. 鋼材費変動に対する適正な精算
4. 支払条件の改善